

令和5年7月20日
北九州市市民文化スポーツ局

報道関係各位

贈呈式

TOTO株式会社から**1,200万円**のご支援！ 2023北九州国際音楽祭へ

昭和63年に市制25周年を記念して始まった北九州国際音楽祭は、今年で36回目を迎えます。

この音楽祭の開催に対して、TOTO株式会社から、本市の文化の向上に役立てることを目的に、毎年多額の寄付をいただいております、今年度は1,200万円の寄付をいただくこととなりました。^{※1}

そこで、下記のとおり寄付目録の贈呈式を行いますので、報道関係者各位におかれましては、是非取材の上報道いただけますようお願い申し上げます。

記

- | | |
|--------|--|
| 1 日時 | 令和5年7月24日（月） 15:15 ~ 15:35 |
| 2 場所 | 北九州市庁舎5階 第一応接室 |
| 3 出席者 | 【寄贈側】
TOTO株式会社 代表取締役 社長執行役員 清田 徳明 様
【受贈側】
北九州市長 武内 和久 |
| 4 寄付金額 | 1,200万円（今回を含む累計額 7億3,000万円） |

※1：新型コロナウイルス等の影響により、プログラム内容の変更や中止に伴う寄付金額変更の可能性があります。

概 要

2023北九州国際音楽祭の開催にあたり、TOTO株式会社の清田徳明社長が武内市長を訪ね、1,200万円の寄付金を贈呈します。TOTO株式会社からは第1回目の昭和63年(1988)から特別協力という形で継続してご支援をいただいております、寄付の累計額は7億3000万円となりました。

今回の国際音楽祭の聴きどころ

今年の北九州国際音楽祭は、「新時代へー」をキャッチフレーズに、八幡東区の響ホールや北九州ソレイユホール、西日本工業倶楽部等、市内の各会場にて10月14日(土)～12月10日(日)の日程で開催されます。

**○パーヴォ・ヤルヴィ指揮、チューリッヒ・トーンハレ管弦楽団、ブルース・リウ
【ピアノ】【10月15日(日)北九州ソレイユホール】**

日本でも大変注目された2021年ショパン国際ピアノ・コンクールで優勝したブルース・リウをソリストに迎え、海外オーケストラ公演を開催します。ショパンのピアノ協奏曲第1番とベートーヴェンの交響曲第5番「運命」という名曲2曲が1度に聴けるのも嬉しいところです。

**○マイスター・アールト×ライジングスター オーケストラ【11月23日(木・祝)
響ホール】**

今年10回目の公演を迎え、これまで出演したライジングたちの多くが、現在は国内外の第一線で活躍をしています。指揮者は置かず、本市出身でNHK交響楽団特別コンサートマスターの篠崎史紀の下、卓越したアンサンブル力による生き生きとした演奏が特徴です。

**○本市出身で世界的ヴァイオリニストの南紫音による弦楽四重奏【10月29日(日)
響ホール】**

2005年にロン・ティボー国際コンクール第2位となり、すい星のごとく現れた南紫音。以降、リサイタルやオーケストラのソリストとして本市内でも出演を重ねていますが、今年は、弦楽四重奏で登場します。新時代を見据えた南紫音の今をお聴きいただけます。

【お問い合わせ】

<寄付に関する事>

市民文化スポーツ局文化企画課
担当：安倍
Tel：093-582-2391

<国際音楽祭に関する事>

北九州市芸術文化振興財団音楽事業課
担当：豊嶋(てしま)、武富
Tel：093-663-6567